

「保健体育・体育（女子）」シラバス

福島県立福島工業高等学校

学年	1	学科	保健体育	使用教科書	現代保健体育	単位数	3
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動の合理的な実践を通して、活力ある生活を支え、たくましく生きるための体力の向上を図る。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を習得し、公正、協力、責任などの社会的な態度を育てる。 ・個人及び社会生活における、健康・安全について理解するとともに、適切な行動が実践できる能力を育てる。 						
科目の評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の特性を理解し、運動技能を高めながら運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 【関心・意欲・態度】 ・リーダーシップを発揮しながら、グループをまとめることができる。 【関心・意欲・態度】 ・自己の能力に応じた課題を設定し、解決し、計画的な練習をすることができる。 【思考・判断】 ・しっかりとした自己評価（反省）、活動ノートの記入ができる。 【思考・判断】 ・技能の段階に応じて、主体的に活動し、具体的な練習や試合ができる。 【技能・表現】 ・仲間と互いに協力しながら活動できる。 【技能・表現】 ・公正なルール、審判方法を理解し、適切な試合の運営ができる。 【知識・理解】 ・健康・安全に留意して練習や試合ができる。 【知識・理解】 						

学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等
一 学 期	4	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の授業の進め方と約束事項の確認。 	◆運動の楽しさや心地よさを感じながら、工夫して運動することができたか。	●自分の体の状況を確認しながら、体力を高めることができたか。 ●授業態度の観察
		体作り運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうようにし、仲間と共感的な運動ができるようにする。 	◇生徒同士で協力して、共感的な運動ができる雰囲気づくりを支援する。	
	5	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技との関連、体力テストとの関連を図りながら体力を高める為の運動ができるようにする。 	◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか。	●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察
		体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストとの関連を図り、計画的な練習や競技（測定）の運営を工夫させる。また、各自の能力を十分に発揮できるようにする。 ・各種目の基本動作や基本技術を練習し、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	◇公正な審判、公平な競技ができる場を整備する。	
6	球技（バレーボール）	<ul style="list-style-type: none"> ・基本動作に慣れ、種目の特性を理解する。 	◆基本動作が理解できたか。	●自己評価、基本技術の採点（スキルテスト）、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察	
7	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・能力に応じた課題を設定し、各泳法を工夫させ、楽しくより長く泳ぐ技能を身につけることができるようにする。 ・水難事故防止の対処法や心構えを身につけるようにする。 	◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか ◇事故防止のためにルールやマナーをしっかり学ばせる。	●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察	

二 学 期	8	球技 (バレーボール)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的技能として、サービス、パスとレシーブ、トス、スパイクの習得を目指す。集団的技能として、主に各レシーブ、三段攻撃等における役割を理解させ、試合で生かせるようにする。 ・集団、個人技能を生かし、学習段階に応じて作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かした試合ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点(スキルテスト)、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チームごとに、活動記録ノートを作成させる。
	9		<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術を習得し、フライングの特色を理解して、組み合わせを考えながらシングルスゲームをできるようにする。 ・フライングの特徴、相手の動き、コースなどに応じた作戦を立てて、ゲームをできるようにする。 ・お互いの課題解決のために、技能の観察や助言を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点(スキルテスト)、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チームごとに、活動記録ノートを作成させる。
	10	バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術を習得し、フライングの特色を理解して、組み合わせを考えながらシングルスゲームをできるようにする。 ・フライングの特徴、相手の動き、コースなどに応じた作戦を立てて、ゲームをできるようにする。 ・お互いの課題解決のために、技能の観察や助言を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点(スキルテスト)、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チームごとに、活動記録ノートを作成させる。
	11	陸上競技 (長距離)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅伝競走との関連を図りながら、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆目標記録を達成できたか。 ◇目標記録を明確に設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎時間の記録測定、活動内容(参加態度等)
	12	バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの課題解決のために、技能の観察や助言を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チームごとに、活動記録ノートを作成させる。
			ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムに乗って楽しく心と体を開放して踊ることができるようにする。また、色々なイメージや動きをとらえ、即興表現を楽しむことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆グループの課題や自分の能力に応じた課題の解決ができたか。 ◇互いのよさを認め合い、協力して練習ができるように支援する。
三 学 期	1	球技 (バスケットボール)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術を習得し、一人ひとりのコンビネーションをつくって攻撃を行えるようにする。 ・連携プレーや個人の特性に応じたポジションなどを理解させ、作戦を立てて、ゲームをできるようにする。 ・集団、個人技能を生かし、学習段階に応じて作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かした試合ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点(スキルテスト)、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チームごとに、活動記録ノートを作成させる。
	2		<ul style="list-style-type: none"> ・運動についての科学的理解を深め、自己の能力に応じて運動技能を高める方法を理解する。 ・トレーニングの方法を実践的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動技能の上達過程を具体的に理解できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●確認テスト
	3	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・運動についての科学的理解を深め、自己の能力に応じて運動技能を高める方法を理解する。 ・トレーニングの方法を実践的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動技能の上達過程を具体的に理解できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●確認テスト

実施内容と実施時期ならびに実施順序については、一部変更になる場合があります。

「保健体育・体育（男子）」シラバス

福島県立福島工業高等学校

学年	1	学科	保健体育	使用教科書	現代保健体育	単位数	3
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動の合理的な実践を通して、活力ある生活を支え、たくましく生きるための体力の向上を図る。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を習得し、公正、協力、責任などの社会的な態度を育てる。 ・個人及び社会生活における、健康・安全について理解するとともに、適切な行動が実践できる能力を育てる。 						
科目の評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の特性を理解し、運動技能を高めながら運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 【関心・意欲・態度】 ・リーダーシップを発揮しながら、グループをまとめることができる。 【関心・意欲・態度】 ・自己の能力に応じた課題を設定し、解決し、計画的な練習をすることができる。 【思考・判断】 ・しっかりとした自己評価（反省）、活動ノートの記入ができる。 【思考・判断】 ・技能の段階に応じて、主体的に活動し、具体的な練習や試合ができる。 【技能・表現】 ・仲間と互いに協力しながら活動できる。 【技能・表現】 ・公正なルール、審判方法を理解し、適切な試合の運営ができる。 【知識・理解】 ・健康・安全に留意して練習や試合ができる。 【知識・理解】 						

学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等
一 学 期	4	オリエンテーション 体作り運動	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の授業の進め方と約束事項の確認。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうようにし、仲間と共感的な運動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動の楽しさや心地よさを感じながら、工夫して運動することができたか。 ◇生徒同士で協力して、共感的な運動ができる雰囲気づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の体の状況を確認しながら、体力を高めることができたか。 ●授業態度の観察
	5	陸上競技 体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技との関連、体力テストとの関連を図りながら体力を高める為の運動ができるようにする。 ・体力テストとの関連を図り、計画的な練習や競技(測定)の運営を工夫させる。また、各自の能力を十分に発揮できるようにする。 ・各種目の基本動作や基本技術を練習し、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか。 ◇公正な審判、公平な競技ができる場を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察
	6	球技（バレーボール）	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的技能として、サービス、パスとレシーブ、トス、スパイクの習得を目指す。集団的 skill として、主に各レシーブ、三段攻撃等における役割を理解させ、試合で生かせるようにする。 ・集団、個人技能を生かし、学習段階に応じて作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かした試合ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点(スキルテスト)、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チームごとに、活動記録ノートを作成させる。
	7	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・能力に応じた課題を設定し、各泳法を工夫させ、楽しくより長く泳ぐ技能を身につけることができるようにする。 ・水難事故防止の対処法や心構えを身につけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか ◇事故防止のためにルールやマナーをしっかり学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察

二 学 期	8	球技（サッカー）	<ul style="list-style-type: none"> ・攻守における個人の基本技術の習得を目指す。さらに、施設や用具の安全について学ぶ。 ・攻守における集団技能を学び、個人やチームの能力に応じた練習計画を立てるようにする。 ・お互いの課題解決のために、技能の観察や助言を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点（スキルテスト）、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チームごとに、活動記録ノートを作成させる。
	9	武道（柔道）	<ul style="list-style-type: none"> ・基本動作や対人的技能を身につけ、得意技を生かした練習や試合ができるようにする。 ・事故防止と安全に留意させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆基本動作が習得できたか。得意技が身についたか。 ◇相手を尊重して練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本動作の確認をする ●授業態度の観察
	10	陸上競技（長距離）	<ul style="list-style-type: none"> ・駅伝競走との関連を図りながら、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆目標記録を達成できたか。 ◇目標記録を明確に設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎時間の記録測定、活動内容（参加態度等）
	11	武道（柔道）	<ul style="list-style-type: none"> ・得意技を磨くとともに、自由練習の中で連絡変化技を使えるようにする。正規のルールで試合を運営できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆相手を尊重した練習ができ、試合では勝敗に対して、公正な態度がとれたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●試合での勝敗結果、自己評価を参考にする。
	12	球技（バスケットボール）	<ul style="list-style-type: none"> ・基本技術を習得し、一人ひとりのコンビネーションをつくって攻撃を行えるようにする。 ・連携プレーや個人の特性に応じたポジションなどを理解させ、作戦を立てて、ゲームをできるようにする。 ・集団、個人技能を生かし、学習段階に応じて作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かした試合ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点（スキルテスト）、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察
三 学 期	1	選択種目	<ul style="list-style-type: none"> ・各個人・グループにおける目標を設定し、計画的な運動の実践を通して、技能の向上及び審判法を習得できるようにする。 ・練習場所の安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画に従って、自主的な活動ができたか。また、グループでの役割を果たせたか。 ◇リーダーの養成を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点（スキルテスト）、活動記録ノートの確認。 ●授業態度の観察 ○種目別に活動記録ノートを作成する。
	2	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・運動についての科学的理解を深め、自己の能力に応じて運動技能を高める方法を理解する。 ・トレーニングの方法を実践的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動技能の上達過程を具体的に理解できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●確認テスト
	3				

実施内容と実施時期ならびに実施順序については、一部変更になる場合があります。

「保健体育・体育（女子）」シラバス

福島県立福島工業高等学校

学年	2	学科	保健体育	使用教科書	現代保健体育	単位数	2
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動の合理的な実践を通して、活力ある生活を支え、たくましく生きるための体力の向上を図る。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を習得し、公正、協力、責任などの社会的な態度を育てる。 ・個人及び社会生活における、健康・安全について理解するとともに、適切な行動が実践できる能力を育てる。 						
科目の評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の特性を理解し、運動技能を高めながら運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 【関心・意欲・態度】 ・リーダーシップを発揮しながら、グループをまとめることができる。 【関心・意欲・態度】 ・自己の能力に応じた課題を設定し、解決し、計画的な練習をすることができる。 【思考・判断】 ・しっかりと自己評価（反省）、活動ノートの記入ができる。 【思考・判断】 ・技能の段階に応じて、主体的に活動し、具体的な練習や試合ができる。 【技能・表現】 ・仲間と互いに協力しながら活動できる。 【技能・表現】 ・公正なルール、審判方法を理解し、適切な試合の運営ができる。 【知識・理解】 ・健康・安全に留意して練習や試合ができる。 【知識・理解】 						

学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等
一学期	4	オリエンテーション 体作り運動	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の授業の進め方と約束事項の確認。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうようにし、仲間と共感的な運動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動の楽しさや心地よさを感じながら、工夫して運動することができたか。 ◇生徒同士で協力して、共感的な運動ができる雰囲気づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の体の状況を確認しながら、体力を高めることができたか。 ●授業態度の観察
	5	陸上競技 体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技との関連、体力テストとの関連を図りながら体力を高める為の運動ができるようにする。 ・体力テストとの関連を図り、計画的な練習や競技(測定)の運営を工夫させる。また、各自の能力を十分に発揮できるようにする。 ・各種目の基本動作や基本技術を練習し、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか。 ◇公正な審判、公平な競技ができる場を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察
	6	球技（サッカー）	<ul style="list-style-type: none"> ・攻守における個人の基本技術の習得を目指す。さらに、施設や用具の安全について学ぶ。 ・攻守における集団技能を学び、個人やチームの能力に応じた練習計画を立てるようにする。 ・お互いの課題解決のために、技能の観察や助言を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点（スキルテスト）、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。

一学期	6	武道 (柔道)	<ul style="list-style-type: none"> 得意技を磨くとともに、自由練習の中で連絡変化技を使えるようにする。正規のルールで試合を運営できるようにする。 事故防止と安全に留意させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆相手を尊重した練習ができ、試合では勝敗に対して、公正な態度がとれたか。 ◇相手を尊重して練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本動作の確認をする。 ●授業態度の観察 	
	7	水泳	<ul style="list-style-type: none"> 能力に応じた課題を設定し、各泳法を工夫させ、楽しくより長く泳ぐ技能を身につけることができるようにする。 目的にあった練習を組み立て、実行できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか ◇事故防止のためにルールやマナーをしっかりと学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察 	
二学期	8		球技 (バレーボール)	<ul style="list-style-type: none"> 個人的技能として、サーブ、パスとレシーブ、トス、スパイクの習得を目指す。集団的 skill として、主に各レシーブ、三段攻撃等における役割を理解させ、試合で生かせるようにする。 集団、個人技能を生かし、学習段階に応じて作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かした試合ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点 (スキルテスト)、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。
	9	<ul style="list-style-type: none"> 基本技術を習得し、フライングの特色を理解して、組み合わせを考えながらシングルスゲームをできるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点 (スキルテスト) 	
	10	陸上競技 (長距離)		<ul style="list-style-type: none"> 駅伝競走との関連を図りながら、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆目標記録を達成できたか。 ◇目標記録を明確に設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎時間の記録測定、活動内容 (参加態度等)
	11	<ul style="list-style-type: none"> フライングの特徴、相手の動き、コースなどに応じた作戦を立てて、ゲームをできるようにする。 各チームにおけるフォーメーションを考えて攻防をできるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆使えるフライングのバリエーションを増やすことができたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点 (スキルテスト)、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 	
	12	ダンス		<ul style="list-style-type: none"> 表現したい内容が伝わるような動きを工夫したり、呼吸を合わせたり、めりはりをつけて踊ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫して行うことができたか。 ◇互いのよさを認め合い、協力して練習したり、発表したりできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、相互評価、発表会での評価。 ●授業態度の観察
三学期	1	球技 (バスケットボール)	<ul style="list-style-type: none"> 基本技術を習得し、一人ひとりのコンビネーションをつくって攻撃を行えるようにする。 連携プレーや個人の特性に応じたポジションなどを理解させ、作戦を立てて、ゲームをできるようにする。 集団、個人技能を生かし、学習段階に応じて作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かした試合ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点 (スキルテスト)、活動記録ノートの確認。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。 	
	2		<ul style="list-style-type: none"> 運動についての科学的理解を深め、自己の能力に応じて運動技能を高める方法を理解する。 トレーニングの方法を実践的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動技能の上達過程を具体的に理解できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●確認テスト 	
	3	体育理論				

実施内容と実施時期ならびに実施順序については、一部変更になる場合があります。

「保健体育・体育（男子）」シラバス

福島県立福島工業高等学校

学年	2	学科	保健体育	使用教科書	現代保健体育	単位数	2						
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動の合理的な実践を通して、活力ある生活を支え、たくましく生きるための体力の向上を図る。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を習得し、公正、協力、責任などの社会的な態度を育てる。 ・個人及び社会生活における、健康・安全について理解するとともに、適切な行動が実践できる能力を育てる。 												
科目の評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の特性を理解し、運動技能を高めながら運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 ・リーダーシップを発揮しながら、グループをまとめることができる。 ・自己の能力に応じた課題を設定し、解決し、計画的な練習をすることができる。 ・しっかりとした自己評価（反省）、活動ノートの記入ができる。 ・技能の段階に応じて、主体的に活動し、具体的な練習や試合ができる。 ・仲間と互いに協力しながら活動できる。 ・公正なルール、審判方法を理解し、適切な試合の運営ができる。 ・健康・安全に留意して練習や試合ができる。 					【関心・意欲・態度】	【関心・意欲・態度】	【思考・判断】	【思考・判断】	【技能・表現】	【技能・表現】	【知識・理解】	【知識・理解】

学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等
一学期	4	オリエンテーション 体作り運動	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の授業の進め方と約束事項の確認。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうようにし、仲間と共感的な運動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動の楽しさや心地よさを感じながら、工夫して運動することができたか。 ◇生徒同士で協力して、共感的な運動ができる雰囲気づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の体の状況を確認しながら、体力を高めることができたか。 ●授業態度の観察
	5	陸上競技 体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技との関連、体力テストとの関連を図りながら体力を高める為の運動ができるようにする。 ・体力テストとの関連を図り、計画的な練習や競技(測定)の運営を工夫させる。また、各自の能力を十分に発揮できるようにする。 ・各種目の基本動作や基本技術を練習し、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか。 ◇公正な審判、公平な競技ができる場を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察
	6	球技（サッカー）	<ul style="list-style-type: none"> ・攻守における個人の基本技術の習得を目指す。さらに、施設や用具の安全について学ぶ。 ・攻守における集団技能を学び、個人やチームの能力に応じた練習計画を立てるようにする。 ・お互いの課題解決のために、技能の観察や助言を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点（スキルテスト）、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。

一 学 期	6	武道 (柔道)	<ul style="list-style-type: none"> 得意技を磨くとともに、自由練習の中で連絡変化技を使えるようにする。正規のルールで試合を運営できるようにする。 事故防止と安全に留意させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆相手を尊重した練習ができ、試合では勝敗に対して、公正な態度がとれたか。 ◇相手を尊重して練習をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本動作の確認をする。 ●授業態度の観察
	7	水泳	<ul style="list-style-type: none"> 能力に応じた課題を設定し、各泳法を工夫させ、楽しくより長く泳ぐ技能を身につけることができるようにする。 目的にあった練習を組み立て、実行できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか ◇事故防止のためにルールやマナーをしっかりと学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察
	8				
二 学 期	9	球技 (バレーボール)	<ul style="list-style-type: none"> 個人的技能として、サーブ、パスとレシーブ、トス、スパイクの習得を目指す。集団的 skill として、主に各レシーブ、三段攻撃等における役割を理解させ、試合で生かせるようにする。 集団、個人技能を生かし、学習段階に応じて作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かした試合ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点 (スキルテスト)、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。
	10		陸上競技 (長距離)	<ul style="list-style-type: none"> 駅伝競走との関連を図りながら、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆目標記録を達成できたか。 ◇目標記録を明確に設定させる。
	11	球技 (サッカー)	<ul style="list-style-type: none"> 連携プレーや個人の特性に応じたポジションなどを理解させ、作戦を立ててゲームをできるようにする。 各チームにおけるフォーメーションを考えて攻防をできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価、基本技術の採点 (スキルテスト)、ゲームでの自己採点、活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。
	12		球技 (バスケットボール)	<ul style="list-style-type: none"> 基本技術を習得し、一人ひとりのコンビネーションをつくって攻撃を行えるようにする。 連携プレーや個人の特性に応じたポジションなどを理解させ、作戦を立てて、ゲームをできるようにする。 集団、個人技能を生かし、学習段階に応じて作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かした試合ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。
	三 学 期	1	選択種目	<ul style="list-style-type: none"> 各個人・グループにおける目標を設定し、計画的な運動の実践を通して、技能の向上及び審判法を習得できるようにする。 練習場所の安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画に従って、自主的な活動ができたか。また、グループでの役割を果たせたか。 ◇リーダーの養成を支援する。
2					
3		体育理論	<ul style="list-style-type: none"> 運動についての科学的理解を深め、自己の能力に応じて運動技能を高める方法を理解する。 トレーニングの方法を実践的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動技能の上達過程を具体的に理解できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●確認テスト

実施内容と実施時期ならびに実施順序については、一部変更になる場合があります。

「保健体育・体育（女子）」シラバス

福島県立福島工業高等学校

学年	3	学科	保健体育	使用教科書	現代保健体育	単位数	2
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動の合理的な実践を通して、活力ある生活を支え、たくましく生きるための体力の向上を図る。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を習得し、公正、協力、責任などの社会的な態度を育てる。 ・個人及び社会生活における、健康・安全について理解するとともに、適切な行動が実践できる能力を育てる。 						
科目の評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の特性を理解し、運動技能を高めながら運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 【関心・意欲・態度】 ・リーダーシップを発揮しながら、グループをまとめることができる。 【関心・意欲・態度】 ・自己の能力に応じた課題を設定し、解決し、計画的な練習をすることができる。 【思考・判断】 ・しっかりとした自己評価（反省）、活動ノートの記入ができる。 【思考・判断】 ・技能の段階に応じて、主体的に活動し、具体的な練習や試合ができる。 【技能・表現】 ・仲間と互いに協力しながら活動できる。 【技能・表現】 ・公正なルール、審判方法を理解し、適切な試合の運営ができる。 【知識・理解】 ・健康・安全に留意して練習や試合ができる。 【知識・理解】 						

学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等
一学期	4	オリエンテーション 体作り運動	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の授業の進め方と約束事項の確認。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうようにし、仲間と共感的な運動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動の楽しさや心地よさを感じながら、工夫して運動することができたか。 ◇生徒同士で協力して、共感的な運動ができる雰囲気づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の体の状況を確認しながら、体力を高めることができたか。 ●授業態度の観察
	5	陸上競技 体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技との関連、体力テストとの関連を図りながら体力を高める為の運動ができるようにする。 ・体力テストとの関連を図り、計画的な練習や競技(測定)の運営を工夫させる。また、各自の能力を十分に発揮できるようにする。 ・各種目の基本動作や基本技術を練習し、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか。 ◇公正な審判、公平な競技ができる場を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察
	6	選択種目1	<ul style="list-style-type: none"> ・各個人・グループにおける目標を設定し、計画的な運動の実践を通して、技能の向上及び審判法を習得できるようにする。 ・練習場所の安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本技術の採点（スキルテスト）、選択種目活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。
	7 8	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・能力に応じた課題を設定し、各泳法を工夫させ、楽しくより長く泳ぐ技能を身につけることができるようにする。 ・目的にあった練習を組み立て、実行できるようにする。 ・水難事故防止の対処法や心構えを身につけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか。 ◇事故防止のためにルールやマナーをしっかり学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察

二 学 期	9	選択種目2 (9月～11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の選択した種目がさらに得意になるように、具体的な計画に従って活動する。そして、リーダーシップを発揮しながら活動できるようにする。 ・チームにおける各自の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習や試合を計画的にできるようにし、勝敗に対して公正な態度を取れるようにする。 ・お互いの課題解決のために、技能の観察や助言を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームの仕方を工夫してできるように支援する。 ◇リーダーの養成を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本技術の採点（スキルテスト）、選択種目活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。
	10	陸上競技（長距離）	<ul style="list-style-type: none"> ・駅伝競走との関連を図りながら、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆目標記録を達成できたか。 ◇目標記録を明確に設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎時間の記録測定、活動内容（参加態度等）
	11	選択種目2 (11月～12月)	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの課題解決のために、技能の観察や助言を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームの仕方を工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本技術の採点（スキルテスト）、選択種目活動ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。
	12	選択種目3	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の選択した種目がさらに得意になるように、具体的な計画に従って活動する。 ・リーダーシップを発揮しながら活動できるようにする。 ・個人及びチームの技能のレベルアップが、さらに図れるように活動する。 ・練習場所の安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画に従って、自主的な活動ができたか。また、チームでの役割を果たせたか。 ◇リーダーの養成を支援する。 ◇気温が低くなる時期であるので、ウォーミングアップ等を工夫して行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本技術の採点（スキルテスト）、選択種目活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○種目別に活動記録ノートを作成する。
三 学 期	1 2 3	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・運動についての科学的理解を深め、自己の能力に応じて運動技能を高める方法を理解する。 ・トレーニングの方法を実践的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動技能の上達過程を具体的に理解できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●確認テスト

実施内容と実施時期ならびに実施順序については、一部変更になる場合があります。

「保健体育・体育（男子）」シラバス

福島県立福島工業高等学校

学年	3	学科	保健体育	使用教科書	現代保健体育	単位数	2
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・各種運動の合理的な実践を通して、活力ある生活を支え、たくましく生きるための体力の向上を図る。 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことにより、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を習得し、公正、協力、責任などの社会的な態度を育てる。 ・個人及び社会生活における、健康・安全について理解するとともに、適切な行動が実践できる能力を育てる。 					
科目の評価の観点の趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の特性を理解し、運動技能を高めながら運動の楽しさや喜びを味わうことができる。 ・リーダーシップを発揮しながら、グループをまとめることができる。 ・自己の能力に応じた課題を設定し、解決し、計画的な練習をすることができる。 ・しっかりと自己評価（反省）、活動ノートの記入ができる。 ・技能の段階に応じて、主体的に活動し、具体的な練習や試合ができる。 ・仲間と互いに協力しながら活動できる。 ・公正なルール、審判方法を理解し、適切な試合の運営ができる。 ・健康・安全に留意して練習や試合ができる。 				<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【思考・判断】 【技能・表現】 【技能・表現】 【知識・理解】 【知識・理解】 	

学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等
一学期	4	オリエンテーション 体作り運動	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の授業の進め方と約束事項の確認。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうようにし、仲間と共感的な運動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動の楽しさや心地よさを感じながら、工夫して運動することができたか。 ◇生徒同士で協力して、共感的な運動ができる雰囲気づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の体の状況を確認しながら、体力を高めることができたか。 ●授業態度の観察
	5	陸上競技 体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技との関連、体力テストとの関連を図りながら体力を高める為の運動ができるようにする。 ・体力テストとの関連を図り、計画的な練習や競技(測定)の運営を工夫させる。また、各自の能力を十分に発揮できるようにする。 ・各種目の基本動作や基本技術を練習し、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか。 ◇公正な審判、公平な競技ができる場を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察
	6	選択種目1	<ul style="list-style-type: none"> ・各個人・グループにおける目標を設定し、計画的な運動の実践を通して、技能の向上及び審判法を習得できるようにする。 ・練習場所の安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームを工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本技術の採点（スキルテスト）、選択種目活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。
	7 8	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・能力に応じた課題を設定し、各泳法を工夫させ、楽しくより長く泳ぐ技能を身につけることができるようにする。 ・目的にあった練習を組み立て、実行できるようにする。 ・水難事故防止の対処法や心構えを身につけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己に適した目標を設定できたか。課題を解決するために合理的な練習や競技ができたか。 ◇事故防止のためにルールやマナーをしっかりと学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己評価と毎時間における測定記録結果を参考にする。 ●授業態度の観察

二 学 期	9	選択種目2 (9月～11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の選択した種目がさらに得意になるように、具体的な計画に従って活動する。そして、リーダーシップを発揮しながら活動できるようにする。 ・チームにおける各自の役割を自覚し、責任を果たし、互いに協力して練習や試合を計画的にできるようにし、勝敗に対して公正な態度を取れるようにする。 ・お互いの課題解決のために、技能の観察や助言を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームの仕方を工夫してできるように支援する。 ◇リーダーの養成を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本技術の採点（スキルテスト）、選択種目活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。
	10	陸上競技（長距離）	<ul style="list-style-type: none"> ・駅伝競走との関連を図りながら、自己の記録を最大限に高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆目標記録を達成できたか。 ◇目標記録を明確に設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎時間の記録測定、活動内容（参加態度等）
	11	選択種目2 (11月～12月)	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの課題解決のために、技能の観察や助言を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆能力に応じた目標を設定できたか。チームでの役割を自覚し責任を果たしたか。 ◇計画的な練習やゲームの仕方を工夫してできるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本技術の採点（スキルテスト）、選択種目活動ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○チーム毎に、活動記録ノートを作成させる。
	12	選択種目3	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の選択した種目がさらに得意になるように、具体的な計画に従って活動する。 ・リーダーシップを発揮しながら活動できるようにする。 ・個人及びチームの技能のレベルアップが、さらに図れるように活動する。 ・練習場所の安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画に従って、自主的な活動ができたか。また、チームでの役割を果たせたか。 ◇リーダーの養成を支援する。 ◇気温が低くなる時期であるので、ウォーミングアップ等を工夫して行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本技術の採点（スキルテスト）、選択種目活動記録ノートを確認する。 ●授業態度の観察 ○種目別に活動記録ノートを作成する。
三 学 期	1 2 3	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・運動についての科学的理解を深め、自己の能力に応じて運動技能を高める方法を理解する。 ・トレーニングの方法を実践的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆運動技能の上達過程を具体的に理解できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●確認テスト

実施内容と実施時期ならびに実施順序については、一部変更になる場合があります。

「保健体育・保健」 シラバス

福島県立福島工業高等学校

学年	1	学科	保健体育	使用教科書	現代保健体育	単位数	1
科目の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活及び社会生活における健康・安全に関する総合的な理解を通して、健康の大切さを認識する。 ・健康なライフスタイルを確立する観点から、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理できるようにする。 ・生活行動や環境を改善していく資質や能力の基礎を培い、実践力を育成する。 					
科目の評価の観点の趣旨		<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言および対話等の観察、板書ノートの記入。 ・課題レポート、学習ノートの記入。 ・定期テスト、実習、課題レポート。 			【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】		
学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等		
一学期	4	健康の考え方 ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康の意志決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	・わが国の健康水準の向上や疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持する増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、適切な行動を選択し実践できるようにする。	◆健康水準の向上の過程、疾病構造の変化について理解できたか。	●板書ノート、課題レポート、学習ノートの確認。 ●発言チェック。		
	5						
	6	健康の保持増進と疾病の予防 ・生活習慣病とその予防 ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病の発病や進行の概要と早期発見・早期治療の重要性について理解させる。そして生活習慣病は今の自分とは無関係ではなく、今後のよりよい生活習慣が重要であることを実感させていく。 ・健康の保持増進のためには、食事・運動・休養・睡眠が重要な要素であることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生活習慣病の予防方法について理解できたか。 ◆食事・運動・休養の重要性を理解できたか。 	●板書ノート、課題レポート、学習ノートの確認。		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙に関する適切な意思決定や選択決定が必要であることを理解できるようにする。 ・飲酒に関する適切な意思決定や選択決定が必要であることを理解できるようにする。 ・薬物乱用が心身に及ぼす深刻な影響や社会に及ぼす影響について理解できるようにする。医薬品の正しい使用方法を理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆喫煙のリスクについて理解することができたか。 ◆飲酒のリスクについて理解することができたか。 ◆薬物がもたらすさまざまな影響を理解することができたか。 	●発言チェック。 ●学期末考査。			

「保健体育・保健」 シラバス

福島県立福島工業高等学校

学年	2	学科	保健体育	使用教科書	現代保健体育	単位数	1
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活及び社会生活における健康・安全に関する総合的な理解を通して、健康の大切さを認識する。 ・健康なライフスタイルを確立する観点から、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理できるようにする。 ・生活行動や環境を改善していく資質や能力の基礎を培い、実践力を育成する。 						
科目の評価の観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言および対話等の観察、板書ノートの記入。 ・課題レポート、学習ノートの記入。 ・健康、安全に関する基礎的・基本的な内容を体系的に学習し、健康的な生活行動の選択及び健康的な社会環境づくりが実践できる。 ・定期テスト、実習、課題レポート。 <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 【技能・表現】 【知識・理解】</p>						

学期	月	学習内容	学習目標	◆主な評価規準 【評価の観点】	●評価方法 ○資料等
一学期	4	生涯の各段階における健康	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたり健康を保持増進するためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己管理を行う必要があることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆思春期における体の発達や行動面・心理面の特徴が理解できたか。 ◆性的欲求や性行動の男女差について理解できたか。 ◆妊娠出産の過程を理解し、健康に留意すべき点を説明できるか。 ◆家族計画の意義、人工妊娠中絶の心身におよぼす影響を理解できたか。 ◆加齢に伴う心身の変化や中高年期の健康の留意点を理解できたか。そして、高齢者の健康課題や総合的対策等について理解できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●板書ノート、課題レポート、学習ノートの確認。 ●発言チェック。 ●学期末考査。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 	<ul style="list-style-type: none"> ・性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化することを中心に理解し、異性を尊重する態度が必要であることを理解する。 ・男女差の性的欲求、性行動について理解する。 		
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な結婚生活をいとなむための留意点等を理解する。そして、妊娠出産の過程を理解し、健康に留意すべき点を説明できるようにする。 		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢と健康 ・高齢者のための社会的とりくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族計画の意義と避妊法及び人工妊娠中絶の条件や心身におよぼす影響を理解できるようにする。 ・加齢に伴う心身の変化や中高年期を健やかに過ごすための留意点を理解し、さらに高齢者の健康課題や総合的対策について理解する。 		

二 学 期	8	保健・医療制度及び地域の保健・医療機関			
	9	・保健制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたり健康を保持増進するためには、自己の健康上の課題を把握するとともに、保健・医療制度や機関について知り、保健センターや医療機関などを適切に利用することができることを理解する。 	◆保健行政のしくみ、保健・医療制度や機関についてのしくみを理解できたか。	●学習ノートの確認。
	10	・医療制度とその活用 ・医薬品と健康			
11	様々な保健活動や対策 ・様々な保健活動や対策				
12	環境と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康被害をもたらすことを理解できるようにする。 ・健康への影響や被害を防止するためには、環境汚染について、発生の防止及び改善の対策が必要であることを理解する。 	◆人間の生活や産業活動が、自然環境汚染や健康被害をもたらすことを理解できたか。 ◆環境汚染の発生防止及び改善対策を理解できたか。	●発言チェック。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染と健康 ・水質汚濁 ・土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 				
		環境と食品の保健	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の環境基準が設定され、環境衛生活動が行われていることを理解する。 ・食品衛生管理や食品の安全性のための対策例（安全の基準等）について理解する。 	◆ごみ処理の過程、下水道の整備などについて理解できたか。 ◆食品衛生管理や食品の安全性のための対策例について理解できたか。	●学期末考査。
		<ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生活動のしくみと働き ・食品衛生活動のしくみと働き ・食品と環境の保健と私たち 			
三 学 期	1	労働と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことと健康の相互影響について理解し、労働災害の防止対策や職場の健康管理の必要性を理解できるようにする。 ・職場や日常生活での健康増進について理解する。 	◆働くことと健康の相互影響について理解し、労働災害の防止対策や職場の健康管理の必要性について理解できたか。	●学習ノートの確認。
	2	・働くことと健康			
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害 ・職業病と健康 ・健康的な職業生活 			

実施内容と実施時期ならびに実施順序については、一部変更になる場合があります。